

2021年9月8日（水）14:00-15:00 Zoom ウェビナー開催

## 家庭料理研究委員会「研究活動の成果総まとめの検討会」

担当：東根裕子・福留奈美

2012－2013年の特別研究の活動に続き、2014年に発足した次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会（略、家庭料理研究委員会）では、2016年度大会より特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表を続けてきました。都道府県別に、主食の特徴（2016）、おやつの特徴（2017）、主菜の特徴（2018）、副菜の特徴（2019）、行事食（2021）、地域の特徴（2022 予定）をテーマに、昭和35－45年頃に食べられていた家庭料理の実際についてまとめています。

この家庭料理研究委員会の活動は、2022年度（2023年3月）をもって終了します。2012年から数えて計11年間の研究活動の成果総まとめとなる企画を、2021年秋から2022年度末までの1年半の間に進めていくため、具体的な企画案について検討を行います。

これまで、全国の委員を対象に、7月末から8月上旬にかけてアイデアを募集する1次アンケートを行い、それをもとに具体的な企画案とアイデアをまとめた2次アンケートを8月後半に実施し、参加・不参加のご意向をうかがってきました。

本検討会では、2次アンケートの結果をふまえ、より具体的な4つの企画案をご提示し、検討会に参加いただいた方々からご意見をいただきます。そうしたご意見をふまえ、最終的な企画を立案し、企画ごとに都道府県の参加、または個人参加を募る予定です。

本検討会は、みなさまからのご意見を各企画に反映する大切な機会です。企画案の詳細は、検討会でご説明いたします。委員でない方も自由にご参加できます。ぜひ、多くのみなさまにご参加いただき、活発な意見交換がされることを願っております。ご参加お待ちしております。

### <企画案の概要>

1. 全国で取り組む企画案：都道府県別にまとめの報告書を作成し冊子にまとめる
2. 都道府県別の任意参加企画案：提出済みの参考文献リストに追記して完成させる
3. 個人の任意参加企画案：レシピ情報等を活用した実践報告を家庭料理 Web サイトで公開する
4. 個人の任意参加企画案：新規の特別研究（調理器具の全国調査関連）への協力